

水曜日の朝から、子供たちは「U F O」の話題でいっぱいだった。登校指導の私も含めて、西の空に浮かぶ「白い物体」を見たからである。

「校長先生、あれなんですか？」「たぶんね、お天気を調べる気球だと思うよ…」とは言ったものの、ネットニュースを見ると、各関係機関も全く分からないとのこと。早速、ネットニュースを印刷して、廊下に貼り出すと、高学年児童が下学年の子供たちに内容を伝えてやっていた。(翌日の朝刊も「未確認物体」として取り上げていたので、これまた続報を掲示する。) 高学年は解説にいそがしい。

「某国の陰謀だ！」という6年生、「〇〇君の家の裏から出てきたそうです！」と興奮する3年生。「宇宙人が出てきたらどうする？」と笑う1年生…。

下校時には「U F O」は見えなくなっていたが、「俺も気を付けて帰るから、■■先生も気を付けた方がいいよ！」と真顔の男の子の言葉がうれしい。

なんだか分からないが、子供たちも先生方も揃って、真っ青な空にポカンと浮かぶ「不思議なもの」を見上げている。1年生から6年生まで、「ああでもない、こうでもない」とマスクの奥から叫んでいる。こんなに全校で盛り上がったのは久しぶり…。

誰が何のためにやったのか分からない「U F O」だが、コロナ対応でおとなしくなっていた子供たちに、一瞬の「不思議な元気」と「想像の世界」をくれたのはまちがいない。

